

産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 6 月 1 日

福岡県知事 殿

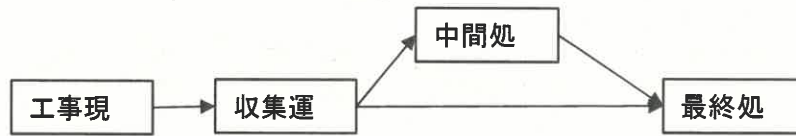
提出者

住所 福岡県福岡市博多区
博多駅東1-12-6 花村ビル66
氏名 株式会社 安部日鋼工業 九州支店
執行役員支店長 大村 一馬
電話番号 092-441-5496

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

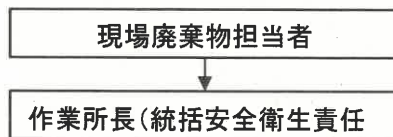
事業場の名称	株式会社 安部日鋼工業 九州支店
事業場の所在地	福岡県福岡市博多区博多駅東1-12-6 花村ビル6階
計画期間	令和5年4月1日 から 令和6年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	D. 建設業
② 事業の規模	
③ 従業員数	80
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	 <pre> graph LR A[工事現] --> B[収集運] B --> C[中間処] C --> D[最終処] </pre>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	その他（コン殻）	その他（アスファルト・コンクリート破片）
	排出量	1,006 t	1 t
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず等
	排出量	1 t	12 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	排出量	5 t	2 t
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず
	排出量	1 t	29 t
	産業廃棄物の種類	その他（鉄くず）	建設混合廃棄物
	排出量	1 t	18 t
	産業廃棄物の種類	その他（混合物・伐採材・伐根材）	水銀使用製品産業廃棄物
排出量	3 t	0 t	
（これまでに実施した取組） 産業廃棄物の発生抑制と関係者への教育。 資材の再利用。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	その他（コン殻）	その他（アスファルト・コンクリート破片）
	排出量	146 t	190 t
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず等
	排出量	2 t	2 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	排出量	19 t	21 t
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず
	排出量	4 t	64 t
	産業廃棄物の種類	その他（鉄くず）	建設混合廃棄物
	排出量	23 t	0 t
	産業廃棄物の種類	その他（混合物・伐採材・伐根材）	水銀使用製品産業廃棄物
排出量	0 t	0 t	
（今後実施する予定の取組） リサイクル材の活用。 ICTによる残コン管理システムの活用。			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） コンテナボックスで分別可能な現場は原則「木くず、廃プラ、鉄くず、コン殻」とする。 小スペースの現場は「混合廃棄物」とし、可能な限り土嚢などで仕分けして分別を行う。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状の基本方針を継続し、周知徹底を図る。 今後、解体工事を受注時は、分別可能な種類を事前に仕分けして計画・実施する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	その他（コン殻）	その他（アスファルト・コンクリート破片）
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず等
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	その他（鉄くず）	建設混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	その他（混合物・伐採材・伐根材）	水銀使用製品産業廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	その他（コン殻）	その他（アスファルト・コンクリート破片）
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず等
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	その他（鉄くず）	建設混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	その他（混合物・伐採材・伐根材）	水銀使用製品産業廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和 4 年度）実績】			
産業廃棄物の種類	その他（コン設）	その他（アスファルト・コンクリート破片）	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0	t
産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず等	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0	t
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0	t
産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0	t
産業廃棄物の種類	その他（鉄くず）	建設混合廃棄物	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0	t
産業廃棄物の種類	その他（混合物・伐採材・伐根材）	水銀使用製品産業廃棄物	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0	t

①現状

（これまでに実施した取組）

【目標】			
産業廃棄物の種類	その他（コン設）	その他（アスファルト・コンクリート破片）	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0	t
産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず等	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0	t
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0	t
産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0	t
産業廃棄物の種類	その他（鉄くず）	建設混合廃棄物	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0	t
産業廃棄物の種類	その他（混合物・伐採材・伐根材）	水銀使用製品産業廃棄物	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0	t

②計画

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	その他（コン殻）	その他（アスファルト・コンクリート破片）
①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず等
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	その他（鉄くず）	建設混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	その他（混合物・伐採材・伐根材）	水銀使用製品産業廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	その他（コン殻）	その他（アスファルト・コンクリート破片）
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず等
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	その他（鉄くず）	建設混合廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	
産業廃棄物の種類	その他（混合物・伐採材・伐根材）	水銀使用製品産業廃棄物	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	
(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 1枚目 (1品目目から4品目目)

【前年度 (4 年度) 実績】			
産業廃棄物の種類		その他 (コン殻)	その他 (アスファルト・コンクリート破片)
①現状	全 処 理 委 託 量	1,006 t	1 t
	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 量	953 t	0 t
	再 生 利 用 業 者 へ の 量	0 t	0 t
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 量	0 t	0 t
	認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 量	0 t	0 t
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	がれき類	ガラスくず等
	全 処 理 委 託 量	1 t	12 t
	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 量	1 t	12 t
	再 生 利 用 業 者 へ の 量	0 t	0 t
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 量	0 t	0 t
認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 量	0 t	0 t	
(これまで実施した取組)			
<ul style="list-style-type: none"> ・過去取引実態を調査して委託。 ・地元業者等の聞き取りによって、優良業者を選択して委託。 			
【目標】			
産業廃棄物の種類		その他 (コン殻)	その他 (アスファルト・コンクリート破片)
②計画	全 処 理 委 託 量	146 t	190 t
	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 量	146 t	0 t
	再 生 利 用 業 者 へ の 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 量	t	t
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	がれき類	ガラスくず等
	全 処 理 委 託 量	2 t	2 t
	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 量	1 t	2 t
	再 生 利 用 業 者 へ の 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 量	t	t
認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 量	t	t	
(今後実施する予定の取組)			
<ul style="list-style-type: none"> ・電子マニフェスト対応業者を優先的に選択する。 			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 2枚目 (5品目目から8品目目)

【前年度 (4年度) 実績】			
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	
全 処 理 委 託 量	5 t	2	t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	5 t	2	t
再生利用業者への 再 処 理 委 託 量	0 t	0	t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 再 処 理 委 託 量	0 t	0	t
産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	
全 処 理 委 託 量	1 t	29	t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1 t	28	t
再生利用業者への 再 処 理 委 託 量	0 t	0	t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 再 処 理 委 託 量	0 t	0	t
(これまで実施した取組)			
<ul style="list-style-type: none"> ・過去取引実態を調査して委託。 ・地元業者等の聞き取りによって、優良業者を選択して委託。 			
【目標】			
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	
全 処 理 委 託 量	19 t	21	t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	19 t	20	t
再生利用業者への 再 処 理 委 託 量	0 t	0	t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 再 処 理 委 託 量	0 t	0	t
産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	
全 処 理 委 託 量	4 t	64	t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	4 t	60	t
再生利用業者への 再 処 理 委 託 量	0 t	0	t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 再 処 理 委 託 量	0 t	0	t
(今後実施する予定の取組)			
<ul style="list-style-type: none"> ・電子マニフェスト対応業者を優先的に選択する。 			

①現状

②計画

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 3枚目 (9品目目から12品目目)

		【前年度 (4年度) 実績】			
		産業廃棄物の種類	その他 (鉄くず)	建設混合廃棄物	
①現状	全 処 理 委 託 量		1 t	18 t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		1 t	18 t	
	再生利用業者への 再 処 理 委 託 量		0 t	0 t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		0 t	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 再 処 理 委 託 量		0 t	0 t	
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		その他(混合物・伐採材・伐根材)	水銀使用製品産業廃棄物	
	全 処 理 委 託 量		3 t	0 t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		3 t	0 t	
	再生利用業者への 再 処 理 委 託 量		0 t	0 t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		0 t	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 再 処 理 委 託 量		0 t	0 t	
	(これまで実施した取組)				
<ul style="list-style-type: none"> ・過去取引実態を調査して委託。 ・地元業者等の聞き取りによって、優良業者を選択して委託。 					
		【目標】			
		産業廃棄物の種類	その他 (鉄くず)	建設混合廃棄物	
②計画	全 処 理 委 託 量		1 t	22 t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		1 t	22 t	
	再生利用業者への 再 処 理 委 託 量		0 t	t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		0 t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 再 処 理 委 託 量		0 t	t	
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		その他(混合物・伐採材・伐根材)	水銀使用製品産業廃棄物	
	全 処 理 委 託 量		0 t	0 t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		0 t	0 t	
	再生利用業者への 再 処 理 委 託 量		0 t	0 t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		0 t	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 再 処 理 委 託 量		0 t	0 t	
	(今後実施する予定の取組)				
<ul style="list-style-type: none"> ・電子マニフェスト対応業者を優先的に選択する。 					

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。